

# 滋賀県内データ～非居住用建築物の着工状況～

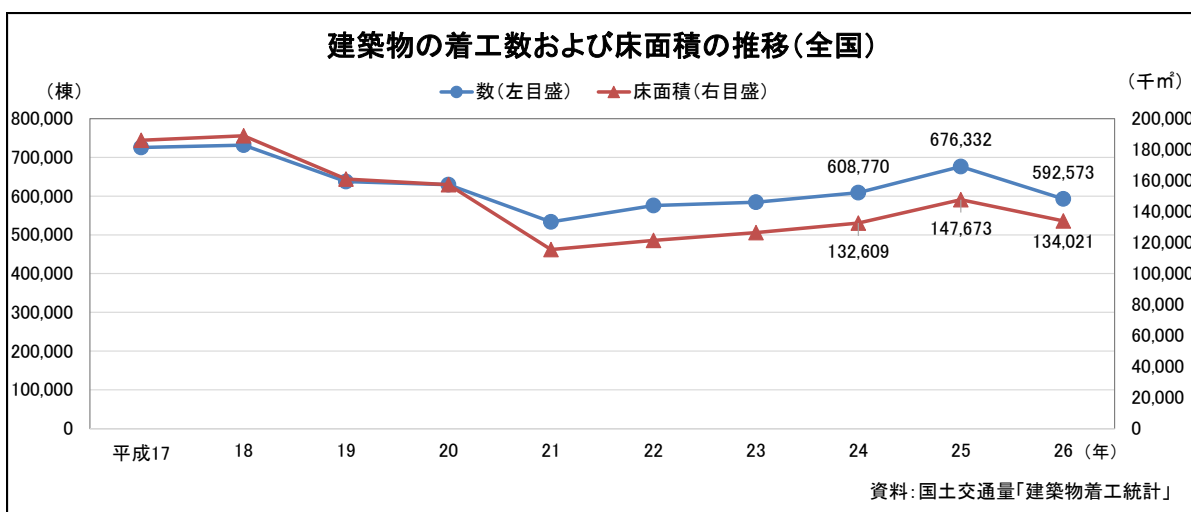
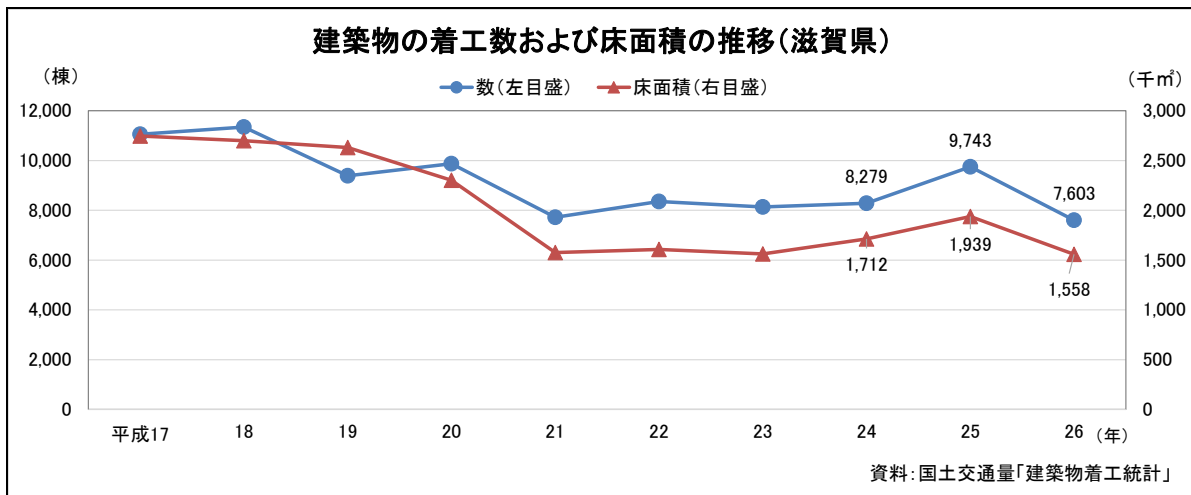
平成 27 年 3 月  
 榑しがぎん経済文化センター  
 産業・市場調査部 中村

企業による機械の購入や店舗・事務所のなどの「設備投資」は景気の先行きをみるための非常に重要な経済指標である。今回は、国土交通省が公表している「建築物着工統計」を参考に、滋賀県における建築物の着工動向について確認したい。

## 1. 着工床面積は前年から 2 割減

平成 26 年の滋賀県における建築物の着工数は 7,603 棟だった。消費増税前の駆け込み需要が発生した前年から 22.0%減で大幅に減少した。着工床面積は 1,558 千㎡ (同 19.6%減) で、それぞれ過去 10 年間では最低だった。

全国に占める割合は、着工数が 1.28%、床面積が 1.16%と、それぞれ 1%あまりとなっている。過去からの推移をみると似かよった傾向となっているが、前年からの反動は滋賀県の方が大きかった。

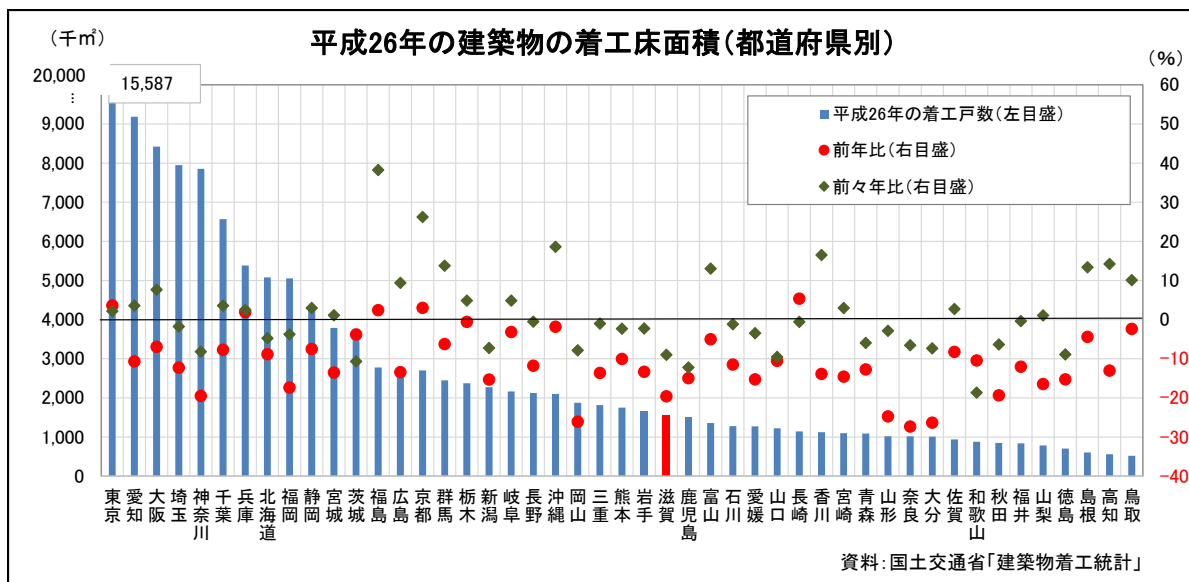


## 2. 着工床面積は全国で26番

平成26年の着工床面積を都道府県別でみると、トップは東京都で、次いで愛知県、大阪府などが続き、三大都市圏が上位を占めた。滋賀県は26番目で中位だった。

前年比では、減少幅が大きい順に奈良県、大分県、岡山県、山形県に次いで5番目だった。

消費増税の影響が薄いとみられる前々年との比較でも、和歌山県、茨城県、鹿児島県、山口県に次いで下から5番目と、低調ぶりがみてとれる。



## 直近3年間の建築物の着工床面積(都道府県別)

(平成26年の着工面積順、単位: 千㎡)

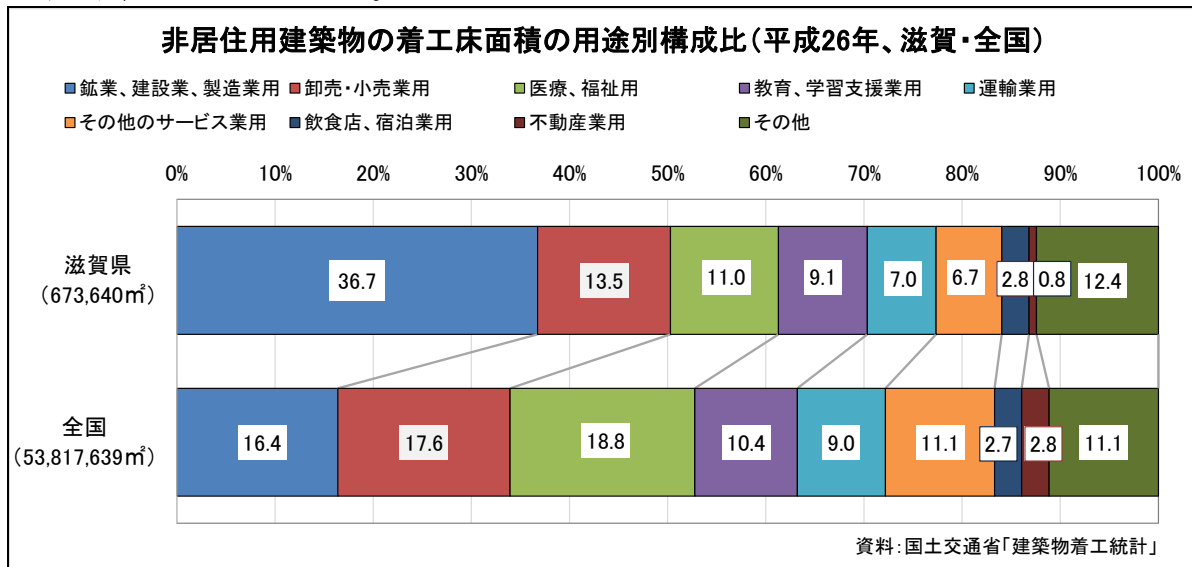
順位	都道府県	平成24年	平成25年	平成26年	24年比	25年比
1	東京	15,255	15,046	15,587	3.6	2.2
2	愛知	8,865	10,282	9,182	-10.7	3.6
3	大阪	7,823	9,053	8,423	-7.0	7.7
4	埼玉	8,090	9,060	7,948	-12.3	-1.7
5	神奈川	8,553	9,755	7,853	-19.5	-8.2
6	千葉	6,339	7,113	6,567	-7.7	3.6
7	兵庫	5,254	5,282	5,383	1.9	2.5
8	北海道	5,332	5,570	5,079	-8.8	-4.7
9	福岡	5,251	6,115	5,054	-17.4	-3.8
10	静岡	4,137	4,606	4,260	-7.5	3.0
11	宮城	3,748	4,383	3,790	-13.5	1.1
12	茨城	4,218	3,915	3,767	-3.8	-10.7
13	福島	2,009	2,712	2,777	2.4	38.3
14	広島	2,476	3,130	2,709	-13.4	9.4
15	京都	2,141	2,624	2,703	3.0	26.2
16	群馬	2,151	2,609	2,447	-6.2	13.8
17	栃木	2,264	2,388	2,374	-0.6	4.9
18	新潟	2,452	2,685	2,275	-15.3	-7.3
19	岐阜	2,064	2,235	2,164	-3.2	4.8
20	長野	2,135	2,407	2,124	-11.8	-0.5
21	沖縄	1,768	2,137	2,098	-1.8	18.6
22	岡山	2,035	2,538	1,876	-26.1	-7.8
23	三重	1,834	2,101	1,815	-13.6	-1.0
24	熊本	1,794	1,947	1,752	-10.0	-2.3
25	岩手	1,686	1,902	1,648	-13.3	-2.2
26	滋賀	1,712	1,939	1,558	-19.6	-9.0
27	鹿児島	1,707	1,763	1,498	-15.0	-12.2
28	富山	1,203	1,431	1,360	-5.0	13.0
29	石川	1,291	1,442	1,276	-11.5	-1.2
30	愛媛	1,318	1,501	1,272	-15.3	-3.5
31	山口	1,352	1,367	1,223	-10.5	-9.6
32	長崎	1,150	1,086	1,144	5.3	-0.5
33	香川	964	1,305	1,124	-13.9	16.5
34	宮崎	1,065	1,283	1,096	-14.6	3.0
35	青森	1,158	1,249	1,090	-12.7	-5.9
36	山形	1,051	1,357	1,021	-24.7	-2.9
37	奈良	1,090	1,401	1,018	-27.3	-6.5
38	大分	1,087	1,367	1,007	-26.3	-7.3
39	佐賀	915	1,025	940	-8.2	2.7
40	和歌山	1,078	979	877	-10.4	-18.7
41	秋田	907	1,054	850	-19.3	-6.3
42	福井	841	953	838	-12.0	-0.3
43	山梨	774	937	782	-16.5	1.1
44	徳島	772	831	704	-15.3	-8.9
45	島根	536	635	607	-4.4	13.4
46	高知	490	644	560	-13.0	14.2
47	鳥取	470	531	518	-2.4	10.1
	合計	132,609	147,673	134,021	-9.2	1.1

資料: 国土交通省「建築物着工統計」

### 3. 製造業が3分の1以上を占める

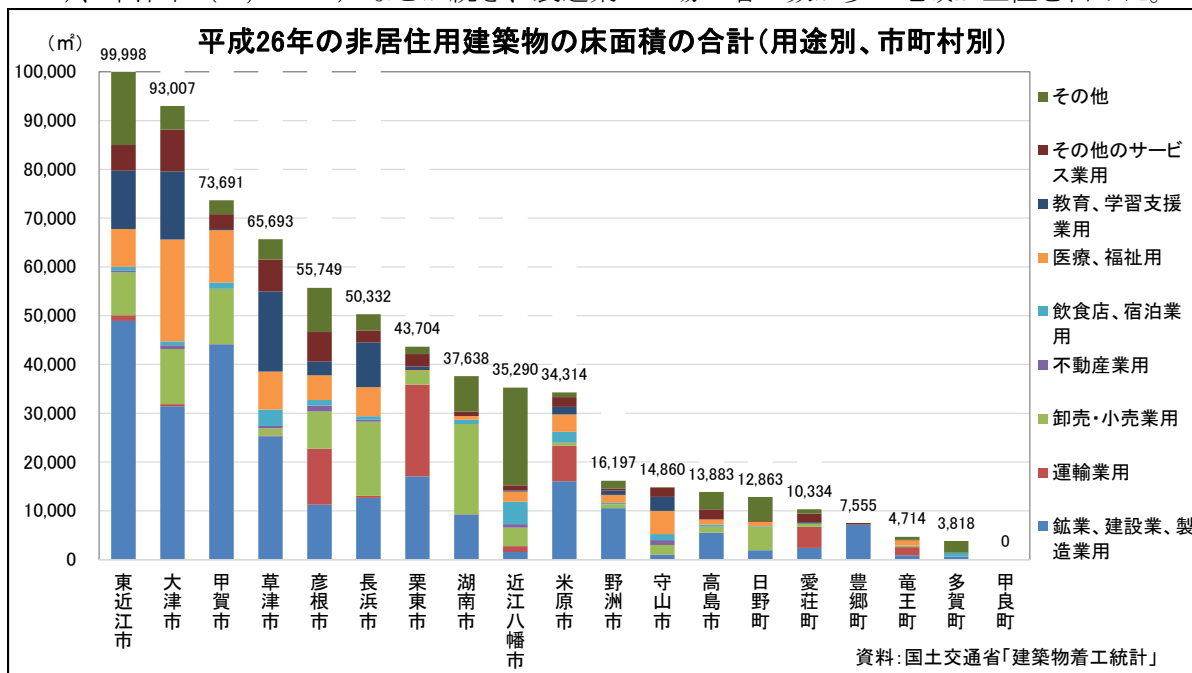
平成26年の着工建築物のうち、住宅用を除いた非居住用建築物の着工床面積は、滋賀県で673,640㎡だった（全国53,817,639㎡の1.3%）。これを用途別にみると、「鉱業、建設業、製造業用」が247,538㎡で、全体に占める割合が36.7%と3分の1以上にのぼった。このうち製造業用が239,497㎡とほとんどだった。次いで卸売・小売業用（13.5%）、医療、福祉用（11.0%）などが続いた。

全国との比較では、「鉱業、建設業、製造業用」が2倍を超え、ものづくり県としての滋賀県の特徴があらわれている。



### 4. 市町別では、東近江市が数・床面積ともにトップ

最後に、平成26年の非居住用建築物の着工床面積を県内の19市町別に確認する。トップは東近江市の99,998㎡で県全体の14.8%を占めた。次いで、大津市(93,007㎡)、甲賀市(73,691㎡)、草津市(65,693㎡)などが続き、製造業の工場の着工数が多い地域が上位を占めた。



以上